

えがお大東っ子 教育研究フォーラム号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranooosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

大東市教育研究フォーラムも、今回で6回目となりました。

「子どもたちの笑顔があふれる学校園づくり」をめざし、その方向性や効果的な取り組みを教職員が確認・推進する機会として、市内公立学校園教職員が一堂に会します。今回は、これまで以上に保護者・市民の皆様にも広く周知を図り、学校教育への理解と関心をさらに高めていただくとともに、「家庭教育でできること」も改めて考える場になればと願っています。

本フォーラム号では、市内全22学校園を紹介する特集を組んでいます。ホームページでもすぐに関覧できる昨今ですが、この機会に是非ご一読ください。

平成29年度 第6回 大東市教育研究フォーラム

【テーマ】 学校教育ができること、家庭教育ができること
～ 子どもの意欲を育むためには ～

<次 第>

- 趣旨説明・あいさつ (9:20～)

亀岡 治義 教育長
東坂 浩一 市長



- 実践報告 (9:35～)

① 大東市立谷川中学校

「つながりで育む子どもの学び」

② 大東市立泉小学校

「子どものやる気を力に変える学校 ～ 外国語活動を中心に ～」

- 記念講演 (10:05～)

講師：一般社団法人 家庭教育支援センター

ペアレンツキャンプ 代表理事 水野 達朗 氏

「これであなとも、がんばる子どもの応援団長！

～みんなで子どものやる気を引き出そう～」

終了予定 (11:30)

諸福幼稚園

園児数： 87名
園長：富岡久美江



「笑顔いっぱい楽しい幼稚園」
～人とかかわる力(学びに向かう力)が育つ幼稚園～

幼児は、人や物とのかかわりを通して様々な感情体験をすることで、心が動き、言葉が豊かになります。本園では、人とかかわりや地域の人々との出会いやふれあいを通して豊かな生活経験を広げ、人とかかわり繋がる楽しさや人を思いやる優しさなど豊かな心を育む環境構成を創意工夫し、自分の思いを言葉で表現できる子どもを育てています。

また、小学校との交流を通して「人とかかわる力」を育み、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図っています。



<1年生と一緒に折り紙製作>



<幼稚園のたんじりとともに、地域の祭りに参加>

北条幼稚園

園児数： 46名
園長：津田千鶴子



「豊かな体験を通して、
生きる力の基礎を育む幼稚園教育」

幼稚園ではさまざまな体験から、子どもが気付いたり分かったりできる力を育て、その力を使い、考え試し、心情・意欲・態度が育つように配慮援助しています。また、集団の中で認め合いながら一人ひとりを大切に、人や自然とのふれあいを大切にした教育を行っています。

特色としては①和太鼓を、クラシック曲とコラボさせ合奏曲として演奏することで、豊かな音楽性を育てています②体力(からだりょく)向上をめざし、年間を通して健康運動指導士の指導を受け、子どもたちの体づくりや運動への意欲を育てています。



<体力(からだりょく)づくり>



<大東市民文化祭出演>

南郷小学校

児童数： 546名
校長：生駒 吉美



「豊かな心をもった たくましい子」の育成をめざして

－ 校訓：元気で 仲よく 美しく －

明治23年に開校した本校は、今年創立127年目を迎えます。良き伝統を受け継ぎ、温かい教育的風土に支えられながら、「自ら学ぶ力」(知育)・「思いやりの心」(徳育)・「健康な身体」(体育)の育成をめざし、全教職員が総力を挙げて推進しています。

教育課題を、

- ①個の学習能力・学習規律の獲得と豊かな交流ができる授業づくり
- ②思いやりのある子、進んであいさつする子、きまりを守れる子の育成
- ③たくましい心身とねばり強い実践力の育成

として掲げ、研究テーマ「基礎的な学力を身につけ、豊かな交流ができる子」のもと、授業力向上に向けて切磋琢磨し、全ての子にとって分かりやすい「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業・学級づくりに取り組んでいます。



<校内研究授業風景>



<運動会 6年 組体操 「心を一つに」>

住道北小学校

児童数： 386名
校長：松下 佳司



「夢をもつ 住北っ子」

－ 心豊かに生きぬく たくましい子 －

伝統校としての誇りを持ち、支持的教育風土の中で、全教職員が「チーム住北」を合言葉に総力を結集し、4つの経営方針の下、めざす子ども像の具現化に努めています。

4つの経営方針

- ①気持ちのそろった教職員集団づくりを進める。
- ②すべての子どもの学びを支える授業づくりを進める。
- ③子どもに居場所のある学級集団づくりを進める。
- ④双方向的な家庭とのかかわりと地域・校種間連携を進める。

めざす子ども像

つよい子：粘り強く自分を伸ばし 心身を鍛える子(健全なる身体)

よい子：認め合い 助け合う 思いやりのある子(豊かな心)

かしこい子：教え合い 高め合う 学びでつながる子(自ら学ぶ力)

「互いに学び合い、豊かに自己を表現できる子をめざして」を研究テーマに、全教員授業公開で算数科の校内研究等に取り組み、個を大切に授業づくりで確かな学力を育みます。

また、住北小の「4つの合い(愛)」(認め合い・助け合い・教え合い・高め合い)を大切に、すべての子どもに居場所(安心感・所属感)があり、つながりが実感できる集団づくりに努めています。

<校訓>

つよい子
よい子
かしこい子



<授業風景>

住道南小学校

児童数： 460名
校長：小林 享子



子どもがチャレンジ意欲を高め、 創造性を発揮する教育活動が 組織的に展開される学校

「豊かな子」「考える子」「強い子」を教育目標として、「学び合う」授業づくりの理念のもと、子どもたちの主体的な学習とそれを支える温かく落ち着いた学習集団づくりをめざし、学力の向上を図るとともに、集団づくりの土台となる思いやりや公德心など「豊かな心」と「健やかな体」を育て、「子どもがチャレンジ意欲を高め、創造性を発揮する教育」に力を注いでいます。

【めざす学校像】

- 1 子ども一人ひとりの良さを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- 2 生涯にわたって学びを続けるために必要な意欲や学び方、基礎的な知識・理解など、生涯学習の基礎を確実に身につけられる、授業が充実した学校
- 3 家庭・地域社会の相互理解・協力を図り、学校の役割をよりよく果たした家庭・地域の信託に応える開かれた学校
- 4 教職員が教育活動の充実のために指導力を研ぎ、一致協力して組織的に教育活動を展開できる学校。

学校便りの他に、学校ホームページにより、学校の取組みや児童の様子を発信しています。
<http://ed.city.daito.osaka.jp/sumis-es/>



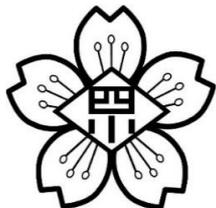
<委員会活動>



<英語・モジュール学習活動の様子>

四条小学校

児童数： 503名
校長：坂下 賢治



仲間とともに学び、育ち合える 子どもたちを育成するために

新「四条小学校」として創立し、7年目を迎える本校では、次のような特色ある取り組みを行っています。

- ① 「学び合う」授業づくりの研究推進
- ② 放課後チャレンジ学習
- ③ 宿題忘れ0週間（各学期）
- ④ 朝の読書、『DREAM』を使った昼の外国語学習（毎週）
- ⑤ 一人ひとりを大切にすると人権学習
- ⑥ 保・幼・小・中・高・大学との連携

上の写真は黒板に、今“考え中の人”や“サポートできる人”を見える化しています。

下の写真はめあてに向けて、友だちと一緒に考えたりする授業があたりまえのようになりました。

ホームページアドレス

<http://ed.city.daito.osaka.jp/sijo-es/>



<黒板への「考え中」や「サポーター」の見える化>



<めあてに向けて、友だちとともに>

四条北小学校

児童数： 476名
校長：石居 弘子



「自ら考え行動する、心豊かで、 たくましい子どもの育成」をめざして

統合新校として5年目を迎えました。美しい校舎やトイレ、そして昨年度完成したプールなど恵まれた環境の中で、子どもたちはのびのびと、そして力いっぱい学習したり、遊んだりしています。掃除や委員会活動にも一生懸命取り組んでいます。

「やさしい子（豊かな心）」「考える子（確かな学力）」「たくましい子（健やかな体）」をめざして、全教職員が同じ方向を向いて様々な取り組みをしています。

- ①わくわくタイム（縦割り活動）では、1年生から6年生までで班を編成し、楽しく遊びながら協力する態度や思いやりの心を育み、6年間でリーダー性を育てます。
- ②授業改善研究会とともに、公開授業月間を設けることにより教員が自らの授業力を高めます。そのことが子どもの学力向上につながると考えます。
- ③今年度新たに配置していただいた学校司書と連携して読書活動、調べ学習の充実を図ります。



<わくわくタイム（楽しい月曜の朝です）>



<一人ひとりが役割を果たします（掃除）>

深野小学校

児童数： 538名
校長：渡邊 正明



未来を切り拓く、 たくましい「ふこのっこ」の育成

創立5年目を迎えます。
【めざす子ども像】として

学 ぶ 力：自ら学び、主体的に行動できる子
豊 かな 心：命をたいせつにし、いじめや差別をゆるさない子
つ なが る 力：友だちの思いを受けとめ、力を合わせ、楽しく活動できる子

を掲げ、人権教育の理念を全ての教育活動に据え、「つながる」を学ぶ力へ、学ぶ力をたくましく生きる力へと、一つひとつの取り組みを子ども達と教員と心を合わせてつくりあげています。

様々な日々の取り組みは、是非ホームページをご覧ください。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/fuko-es/>



<ICTで「学び合い」ペア学習>



<6年生と1年生のなかよし清掃>

北条小学校

児童数： 347名
校長：樋口 嘉和



小中連携における「学び」と「つながり」 ～ めざす子ども像を共有した実践を～

北条小学校は、北条西小と北条小が統合して6年目を迎えました。

教育目標も新しくなり『ふるさとを愛し、学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成』とし、人権教育を基軸に据え「学び合う」授業づくりの理念の下、子どもたちの主体的な学習とそれを支える温かく落ち着いた学習集団づくりをめざしています。

平成28年度からの3年間、北条中校区として、文部科学省の『人権教育総合推進地域事業』の指定を受け、小中9年間の人権教育カリキュラムを作成し、地域から学ぶ人権教育をさらに深化させるよう取り組んでいます。

また、平成29年度からの3年間、大東市小中一貫教育モデル校区の指定を受け、小中のつながりのある学びをつくることや児童生徒の接点のある取り組みを重ね、めざす子ども像を共有し、9年間を見通したカリキュラム作成により、一層の学力向上、豊かな心の育成をめざします。



<小学校における人権学習の集大成、6年生全員での北條太鼓>



<中学校生徒会も一緒にあいさつ運動>



氷野小学校

児童数： 636名
校長：渡部 直実



一人ひとりどの子ものびる きらきら笑顔があふれる 氷野小学校

学校教育目標「豊かな心をもったたくましい子」のもと、「深く考え」「豊かな心」と「健やかな体」すなわち知・徳・体の育成をめざし、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

今年度の重点目標には、「教科における基礎・基本の確実な定着」「学習規律の確立と徹底」「授業改善」を中心に据え、学年や教科を越えた横断的・総合的な取り組みを推進し、子どもたちの全人格的発達を図っています。今年度は府アクティブ・スクール推進校として、さらなる確かな学力の育成の取り組みを全校体制として進めており、特に国語科の授業研究を通し、『読んで、書いて、話して、聞いて、ともに高まる授業づくり』をテーマとして研究実践を進めています。

また、食に関する取り組みも、本校の特徴の一つです。野菜や植物の栽培はもちろん、校庭の田んぼでの米づくりやれんこんの収穫にも取り組んでいます。子どもたちのきらきら輝く笑顔があふれる学校づくりをさらに進めてまいります！！

<http://ed.city.daito.osaka.jp/hino-es/>

☆日々の教育活動を毎日更新しています☆



<6年 組体操>



<校庭の田んぼ>

泉小学校

児童数： 450名
校長：山本 克



「笑顔のわき出る学校」

— 知・確かな学力 徳・豊かな心 体・健康な身体 —

『笑顔のわき出る学校』を教育目標に掲げ、「自尊感情の醸成」と「豊かな人間関係づくり」を重点目標として、全教職員が日々の教育活動を実践しています。縦割り学年の交流をとおして異学年のつながりを深め、教え合い、学び合う関係を育てる「にこにこ泉」や、授業規律の定着をはかる「スタディ7」、学力向上の取り組みとして自ら課題を見つけ、自主的に学習する力をつける「自主学习ノート」では、使い終わったノートを積み重ね、より高い自学タワーの完成をめざしています。

また、5年間取り組んできた外国語活動においてはモジュール学習を取り入れ、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを全学年で体験しています。



<にこにこ泉 全校遠足>



<自主学习ノートのタワー>

諸福小学校

児童数： 814名
校長：武内 秀人



一人ひとりが生かされ、笑顔のはずむ学校づくり

～ つながる学びをめざして ～

諸福小学校は現在、大東市内で一番児童数の多い小学校です。一人ひとりの児童が生き生きと学び、つながり、みんなが笑顔になれる学校づくりをめざして日々取り組んでいます。

学習においては「みんなが生き生きと活動できる授業づくり」のために、

- ①算数科における分割授業やチームティーチングによるきめ細やかな指導の充実
- ②「朝の学習」「宿題忘れ〇週間」高学年での「自学ノート」による基礎学力の定着
- ③「めあて」と「まとめ」の確認や「共通の振り返りシート」の使用等、統一した指導
- ④全職員による研修や模擬授業の実施による全校で方向性を定めた授業づくり

等について全職員一致で取り組んでいます。



<授業時間は授業に集中！>



<放課後は全職員で協力して授業づくり>

灰塚小学校

児童数： 504名
校長：伊東 敬太



豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる
力を身につけた子どもの育成

本校は、大東市で13番目の小学校として、昭和52年に創立されました。校章であるカタバミの3つの葉に、めざす子ども像『強い子』『正しい子』『豊かな子』を思い描きながら、上記の学校教育目標のもと、さまざまな教育活動を展開しています。

多様な価値観や国際化、都市化、情報化が交じり合う、複雑化した現代社会を生きぬく力を身につけるために、国際理解交流会などを通して、多様性を理解し、自分の見方や感じ方、考え方を相手に伝え、人々との関わりの中でよりよく生きようとする力を育てています。

また、すべての教科・領域において基本となる「話す・聞く」活動を多面的に取り入れることや、「書く」学習活動を全学年通じて大切にすること、少人数指導による学習を充実することで、子どもたちの問題解決能力を高める学習活動の工夫に取り組んでいます。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/haizuka-es/>



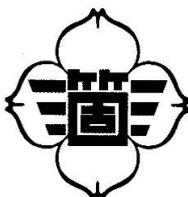
<国際理解交流会>



<少人数学習>

三箇小学校

児童数： 448名
校長：藤井 郁恵



「生きる喜びをもった たくましい子」
～ 喜びあふれる 心のふるさと ～

本校の教育目標は「温かさや厳しさや感動のある教育」を信条に「★(創造・健康・向上)の喜びあふれる三箇小学校」「★心のふるさと三箇小学校」をめざし、全教職員が一致した取り組みをすすめています。

本校の主な取り組みとして

- ① 毎週火曜日の放課後に取り組んでいる「三箇スタディ(放課後学習)」
- ② 毎週水曜日、「読書ノート」を活用した、全校で実施している「朝の読書」
- ③ 「家庭学習の手引き」・「家庭学習チェック週間」を活用した家庭学習の強化、習慣化
- ④ 人権・平和・道徳教育の充実
- ⑤ 集団づくりの充実
- ⑥ 学校公開やホームページ等による開かれた信頼される学校づくり

等があります。他にも漢字・算数検定、PTAと共催の「三箇まつり」や地域の方々との交流会、幼稚園・保育園・中学校との連携等、様々な取り組みを行っています。



<三箇スタディ(放課後学習)の様子>



<PTA・地域の方々と交流する「三箇まつり」>

南郷中学校

生徒数： 649名
校長：齊藤 政隆



「明日も来たいと思える学校」

平成27年度後期生徒会役員との懇談会の中で、「君たちにとって、いい学校とは、どんな学校ですか？」という問いかけに、ある生徒が「みんなが、明日も来たいと思える学校だと思います。」と答えました。めざす学校としてこれほどわかりやすく、本質に迫る言葉はないと思い、平成28年度から南郷中学校の目標となっています。

その目標を達成するために、生徒が主体的に活動し、活躍する場を増やしています。

全校集会や学年集会の司会・運営、体育大会、文化祭では練習段階から生徒の実行委員会による練習の流れの説明と振り返り、終業式後の校区内ボランティア清掃、南郷キューピットと連携した御領水路のボランティア清掃、地域と連携したエコキャップ回収運動やあいさつ運動など、様々な場面で生徒が主体的に活動し、生き生きと輝く南中生をめざし日々取り組みを進めています。



<全校集会：生徒会が司会>



<3年生代表が修学旅行の学びを発表>

住道中学校

生徒数： 508名
校長：古庄幸士郎



「主体的に取り組む生徒」 の育成をめざして

本校では「授業づくり」、「集団づくり」を柱として、「主体的に取り組む生徒」の育成を図ることをめざし、生徒にとって「在学中は誇りを持ち、卒業後は愛着を持つ学校」となるよう、日々教育活動を進めています。

【授業づくり】

- ① 授業改善研究の推進、年2回の授業公開月間等を実施し、授業改善に取り組む。
- ② 放課後学習や自学自習ノート、毎日宿題などの取り組みを実施し、自学・自習力の向上をめざす。
- ③ 全校生徒、全教職員で「朝の読書」に取り組む。また、必読図書の設定や授業での図書館利用など、図書館教育の充実を図る。

【集団づくり】

- ① 集団づくりの基本9項目を全教職員で共有し、集団づくりを推進していく。
- ② 全学年で必ず月1回の班長会議を実施し、生徒の自主的な集団づくりをより向上させる。
- ③ 広報活動（生徒会新聞、壁新聞など）や、小学校児童会との連携（あいさつ運動など）を充実させ、生徒会活動の更なる活性化を図る。また、生徒総会を企画・実施する。



<本校伝統の合唱コンクール
迫力ある3年生の学年合唱>

四条中学校

生徒数： 249名
校長： 柏木 君雄



互いに学びあい学力を高める生徒、心とからだを鍛える生徒

あいさつを大切にする生徒

1. 学力を高める取り組み

- ① 補充学習 月3回 毎週木曜日4時間目
1学期：「漢字道場」、2学期：「English Stadium」、3学期：「数学道場」
- ② 家庭学習ノート
- ③ まなび舎 土曜日・火曜日：毎月2回ずつ
- ④ 教員間での授業見学月間 年2回
- ⑤ 毎日15分の朝の読書



<スーパー徳掃隊（校区内の公園にて）>

2. 集団づくりのなかで一人ひとりを高める取り組み

- ① 菊葉会執行部による
 - ・ 毎日の徳掃隊（校内清掃活動）とあいさつ運動
 - ・ スーパー徳掃隊 毎学期終了時前 ボランティアによる地域清掃
- ② みんなでクラブDAY
部活顧問全員により部活動の指導を行う。
- ③ ノーチャイムデー
朝の読書終了後から部活動終了時のチャイム以外をなくし、学校生活を送る。
- ④ 年2回の生徒総会



<土曜日の「まなび舎」の様子>

深野中学校

生徒数： 434名
校長： 澤邊 正人



自らの可能性を

最大限伸ばすことをめざして!

他の人の話を「よく聴き」、ものごとの本質を「よく見つめ」、人に左右されず自分で「よく考える」、この3つを大切にして、健康で実行力のある生徒を育てたいと思っています。

そのために、「生徒が主体となった活動」の充実を図り、生徒会活動・部活動・各行事などに取り組んでいます。



<生徒会あいさつ運動>



<体育大会>



<部活動>



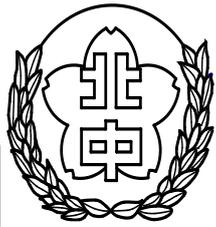
生徒の良いところをどんどんほめて育てると同時に、叱らなければいけない時は本気で叱る、メリハリのある温かい雰囲気为学校づくりを推進しています。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/fuko-jhs/>



北条中学校

生徒数： 217名
校長：鈴木 英夫



40年目の北中教育の充実に向けて ～ 地域に根ざした学校づくり ～

北条中学校は、創立40年目を迎えました。40年目の今年度は、1小学校1中学校という校区状況の中、3年間の大東市の事業として「小中一貫教育モデル校区プロジェクト」に、北条小学校とともに取り組んでいます。小中共通のめざす子ども像を「自らの将来の姿を描き、意欲をもって学び続ける子ども」と設定し、初年度である今年度のテーマは、「小中連携における『学び』と『つながり』～めざす子ども像を共有した実践を通して～」としました。6月22日には、アクセスプランという小学校6年生の中学校登校の取り組みを開催し、6年生に中学校での授業を体験してもらいました。

さらに、ふれ愛教育協議会（北条中学校区地域教育協議会）との連携を密にし、20回目を迎える「ふれ愛フェスティバル」の開催をはじめ、地域・家庭の願いに立つ地域に根ざした学校づくりを進めています。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/houjo-jhs/>



<アクセスプラン>



<H28 ふれ愛フェスティバル>

谷川中学校

生徒数： 376名
校長：山内 敏弘



つながいで育む子どもの学び

谷川中学校では、つながりを大切にしたい取り組みを行っています。学校生活では、クラスや班での活動を通して生徒どうしのつながりを深めています。各行事や生徒会・委員会活動は、生徒が主体となって学年をこえて活動する姿が見られます。また、授業では「学び合う」授業づくりに取り組んでおり、生徒どうしのつながりを軸にペアやグループだからこそ高め合える学び、深まる学びを各教科で研究しています。

谷中校区まつりをはじめとする地域と連携した行事は、地域の方々・関係諸団体とつながりを軸に企画・運営します。また、校区の小学校・保育園とは、同じ子どもたちの育ちにかかわる大人どうしのつながりを深めるため、研修会を開催するなどして交流を続けています。



<授業での班学習の様子>

諸福中学校

生徒数： 301名
校長：植木眞一郎



確かな学力・豊かな心 健やかな体の育成をめざして

本校は、昭和55年に開校し創立38年目となりました。

「ユニバーサルデザイン」に視点をあて、「学び合う」授業づくりの実践を通して、全ての生徒たちに学ぶ喜び、学ぶ楽しさを実感する取り組みをすすめています。

さらに朝の読書活動、給食を通じた食育の学び、放課後や土曜日の「まなび舎」学習会の開催、家庭学習の定着を図るための「家庭学習ノート」などに取り組んでいます。また、いじめ問題等、人権教育についても一人ひとりの生き方につながるように、深く考える学びを大切にしています。

地域みなさんにもエコキャップ回収にご協力いただき、市内中学の中で1番の回収率となっています。今後とも地域の中で信頼される学校づくりを推進していきます。

<http://ed.city.daito.osaka.jp/moro-jhs/>



<「学び合う」授業づくり>



<沖縄 修学旅行>

大東中学校

生徒数： 240名
校長：岩藤 雅実



仲間とともに学び、 仲間とともに育つ

大東中学校の特徴は、「仲間づくり」と「協同学習（学び合う授業）」です。

①「仲間づくり」ーあったか光線が飛び交う学校ー

全クラスに班があり、班長会を中心に行事を計画し、進行していきます。いじめについても班長会、班ノート等を通してアンテナを高く張っています。宿泊行事などはルールを考える前に生徒発案で「まず、今ある学校のルールを守ろう。」とチャイム席や授業態度コンクールを実施しました。友だちを思いやる言動が随所で見られるすばらしい学校です。

②協同学習（学び合う授業）

全クラスに4人を基本とした学習班を設けています。授業中の先生を「聞く」だけでは10%が頭に残り、「人に教える」ことで90%残る（ラーニングピラミッド）と言われています。一斉授業だけでなく参加型学習を積極的に導入し、学習意欲の高まる協同学習に力を入れています。効果が出始めています。



<学習班で漢字を考えています>